

## 第2次総合計画の策定が始動

NEWS&  
TOPICS  
6月26日



第1回市総合計画審議会が東野コミセンで開催されました。これは、平成28年度から始まる第2次総合計画を策定するためのものです。会議では、委員の委嘱や同計画策定の諮問などが行われました。今後は、次の10年とその先を見据えた計画作りが進められます。

## 蛍の学習成果を児童が発表

NEWS&  
TOPICS  
6月28日



東野の宗久寺で「ひがしのほたる祭り」が開催されました。東野小の児童は、蛍について学習したことを発表。児童が作ったゴム印を自由に押して、自分だけのうちわを作るコーナーもありました。近くの定蓮寺川では、暗くなってから、蛍が飛ぶ姿を見ることもできました。

## 市立恵那病院が優良病院表彰

NEWS&  
TOPICS  
7月3日



市立恵那病院が「自治体立優良病院」として表彰されました。この表彰は、収支の均衡状況など経営の健全性と、救急医療の実施状況や保健衛生活動の状況など、地域医療への貢献度を基準に選考されるものです。本年度は、全国で7病院が表彰されています。

## イワクラ公園でササユリ祭り

NEWS&  
TOPICS  
6月22日



山岡町のイワクラ公園で「山岡ささゆりまつり」が開かれ、市内外から約100人が参加しました。祭りでは、市の花のササユリの説明や、公園内でのササユリ鑑賞などが行われました。また木工クラフト体験では、子どもたちが作品作りに夢中になっていました。

## 空き家を体験田舎ハウスに

NEWS&  
TOPICS  
6月28日



三郷町で体験田舎ハウス「三郷あんじゃないの家」が開所しました。これは、空き家対策の一環として、また地域の交流拠点として、古民家を改修していたものです。開所式では、改修に携わったリフォーム講座の受講生が感想を話し、地元の人と一緒に完成を祝いました。

人ともち  
恵那の今を  
お届けします



情報BOX  
えな

## ダムの役割と水ができる仕組みを学ぶ

NEWS&  
TOPICS  
7月3日

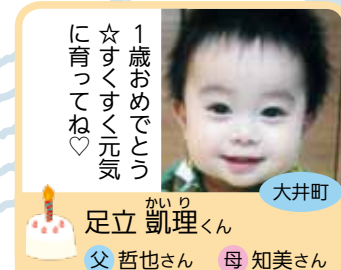
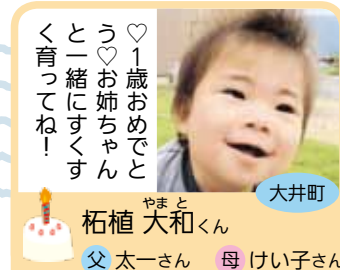
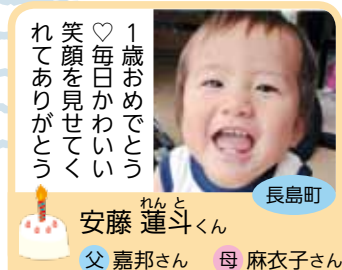
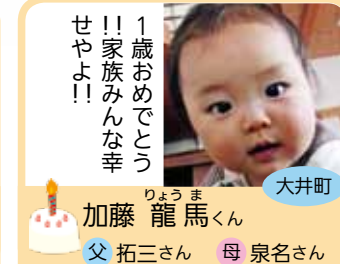
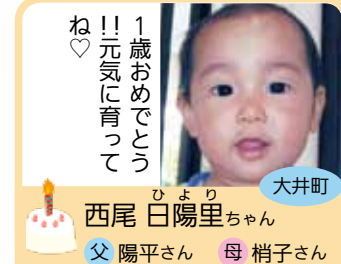
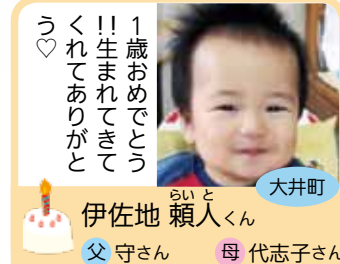
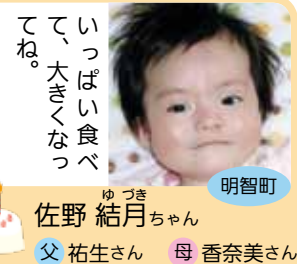


中野方小学校の4年生13人が、中野方ダムと中野方浄水場を見学しました。ダムでは、洪水調節や水道用水の水源など、ダムの役割についての説明を受けたり、暗くてひんやりするダムの中を見学したりしました。また浄水場では、ダムから来た水が飲める水になる工程を勉強。興味深そうに職員の話聞いてメモを取っていました。

お誕生日  
おめでとう



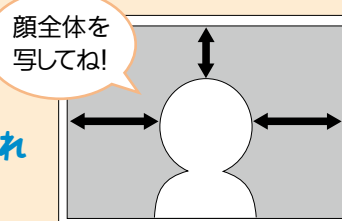
1歳になりました  
HAPPY BIRTHDAY  
わが家のBABY 8月生まれ



募集中

もうすぐ1歳

平成25年9月生まれ  
のお子さんを募集



9月に1歳の誕生日を迎えるお子さんの写真を募集します。写真(なるべく1人で胸から上で顔全体が写っているもの)の裏に①住所②氏名(ふりがな)③生年月日④性別⑤電話番号⑥両親の氏名⑦28字以内のコメント⑧ケーブルテレビ放映の可否-を添えて、8月15日(金)までに申し込んでください。  
申し込み多数の場合は先着順で掲載します。

□申し込み・問い合わせ  
〒509-7292(住所不要) 総合政策課広報広聴係  
☎26-2111(内線319)

※コミセン=コミュニティセンターの略

市原さんは中学生の時に両親の仕事の都合で県外へ転居。家族の介護を理由に40年ぶりに故郷へ帰ってきたが、そこで目にしたのはシダだけが生き茂るうっそうとした暗い森。幼いころ一面に咲いていたカタクリの花は咲かなくなっていた。残念に思った市原さんは、もう一度花を自

「幼いころに見た山野草の花を再びよみがえらせ、自作の陶人形と共演させた世界をつくりたい」と夢を語るのは、大井町の市原邦子さん。自宅の敷地内にある森を自分流に手入れし、趣味で作った陶器の人形数百体を飾ることで、独自の世界観あふれる庭を造っている。

市原さんの庭には、カタクリやサユリなど数十種類の山野草が生息しており、春には、色とりどりに咲く花々を楽しめる。あちらこちらに陶器で作った人形が並べられ、おとぎ話の世界に迷い込んだような雰囲気だ。しかし、10年ほど前はジャングルのように荒れ果て、足を踏み入れることすら難しい場所だったという。

## 輝く 恵那人 118 学ぼう伝えよう



## 花咲く故郷をもう一度 山野草が咲く花景色の再生に尽力

### □プロフィール

小学校教諭を退職後、独学で陶芸を始める。陶芸と並行して、自宅の庭を手入れし、ことしの4月には期間限定で一般にも公開した。

恵那で輝いている旬な人を紹介します

大井町長丘  
市原 邦子 さん 70歳



「やっ」とよみがえった花が未来もずっと咲き続け、皆さんに見てもらえるようになればいいな」と笑った。

分の目で見たいという一心で、森を手入れし直すことを決めた。力を貸してくれた周りの人たちと一緒に、たくさんの木を切り倒し、道を造り、冬には落ち葉をかき集め、暗かった森に十分な日光が当たるよう環境を整えた。努力のかいあって、植物は息を吹き返したかのように生き生きし始め、かつてのように美しく咲く花が見られる庭へ変わっていった。いつしか庭造りは日課と生きがいになり、着手から10年たった現在も毎日森を一周し、手入れを続けている。

森を一層にぎやかにしているのが市原さん自作の陶器の人形だ。昨年の市美術展で市長賞を受賞した次米の人形60体は、ピエロ楽隊の前で音楽に合わせて踊る人々という設定で花と一緒に森を彩っている。



▲次米の人形(奥)とピエロの楽隊(手前)

## 願いを天に届けた七夕会

NEWS&  
7月7日  
TOPICS



武並保育園で七夕会が行われました。園児らは、園児らの願いが書かれた短冊が飾ってある七夕飾りに向かって「たなばたさま」を大きな声で合唱。また暗い中、蛍光色の絵人形が色鮮やかに浮かび上がる「ブラックシアター」で上演された、七夕の話に聞き入っていました。

## 大人も子どもも泥まみれ

NEWS&  
7月13日  
TOPICS



山岡町の田んぼで「どろんこワールドカップ in 山岡」が開催されました。この大会は、都会にはない、のどかな山岡町の里山風景の中で田んぼのぬくもりを感じながらサッカーを楽しむ行事です。この日は、6チーム36人の選手が泥まみれになってサッカーを楽しみました。

## 子どもが科学の不思議を体験

NEWS&  
7月20日  
TOPICS



恵那文化センターで「こどもフェスタ2014」が開催され、約1,500人の親子らでにぎわいました。会場には、科学の不思議などが体験できる約30のコーナーを設置。子どもたちは、スライム作りや宙に浮く風船輪くぐり体験、写し絵下敷き作りなどに夢中になりました。

## 災害時には社協と相互支援

NEWS&  
7月4日  
TOPICS



「災害時における市と市社会福祉協議会の相互支援に関する協定書」の調印式が市役所で行われました。これは、大規模な災害が発生した場合に両者が相互に協力する協定です。いざというときには、必要な場所へ適切な人材を派遣し迅速に地域の再生が図られます。

## 「ナードム」でモンゴル人と交流

NEWS&  
7月12日  
TOPICS



上矢作町のモンゴル村で「モンゴルナードム in KAMIYAHAGI」が開催されました。ナードムとは、モンゴル国で行われる国民行事「民族の祭典」のこと。この日は、オユンナ村長のコンサートが行われた他、福寿太鼓の演奏などで、モンゴル人と交流しました。

## 中学生が福寿苑を訪問

NEWS&  
7月16日  
TOPICS



上矢作中学校の2、3年生27人が町内にある特別養護老人ホーム福寿苑を訪問し、高齢者らと交流しました。生徒らは「ふるさと」などの合唱を披露。高齢者も一緒に歌いました。また福寿苑まつりで使う花飾りを、生徒と高齢者が一緒に作って、交流を深めました。